

令和7年度 第1回公設宮代福祉医療センター管理運営協議会会議録

開催日時	令和7年11月25日(火)午後4時30分～午後5時00分	
開催場所	公設宮代福祉医療センター 3階会議室	
	委員	新井 康之 会長(町長) 藤来 靖士 委員(公益社団法人地域医療振興協会 理事長) 石黒 久也 委員(公益社団法人地域医療振興協会 事務局長) 石井 英利 委員(公設宮代福祉医療センター センター長) 木村 由美子 委員(公設宮代福祉医療センター運営懇話会 会長) 渋谷 龍弘 委員(副町長) 草野 公浩 委員(健康介護課長)
出席者	事務局	吉新 通康(公益社団法人地域医療振興協会 会長) 田波 雄大(公益社団法人地域医療振興協会 次長) 宮崎 康之(公設宮代福祉医療センター 診療所長) 秋山 耕治(公設宮代福祉医療センター 参与) 曾根 一浩(公設宮代福祉医療センター 事務長代理) 野口 延寿(健康介護課 健康増進室長) 石井 栄(健康介護課 主幹)
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
配布資料	次第、運営協議会資料	
会議録作成者	石井	

1. 開会(進行:野口)
2. 宮代町長あいさつ
3. 地域医療振興協会 会長あいさつ
4. 地域医療振興協会 理事長あいさつ
5. 自己紹介
6. 議事(進行:新井会長)
 - 1) 令和7年度上半期公設宮代福祉医療センター利用状況について
 - 2) 令和7年度上半期公設宮代福祉医療センター損益計算書について
 - 3) 令和7年度上半期公設宮代福祉医療センターの取組について
 - 4) その他

新井議長 それでは議事進行を務めます。次第に従い進めます。議事1から議事3までについて関連がありますので、一括して事務局から説明をお願いします。

(議事 1 から議事 3 まで曾根事務長代理から一括説明)

新井議長 議事 1 から議事 3 までの説明がありましたが、何か質問等はありますか。

木村委員 懇話会でも話題になったが、材料費、人件費も高騰し、全国的に病院経営は厳しい中で、去年は半期で 600 万円ほどのマイナスだったが、最終的には 300 万円程度プラスになっていて、今年も半期で赤字になっているが、今後赤字幅が縮まるのではないかと思う。このような状況の中で経費削減に努めながら運営するのは大変だと思う。個人医が減少する中で、六花を町の医療の中心として維持していくことを強く思う。

藤来委員 町と相談しながら、自分たちのできることはやらなければいけないし、収益の改善にも真摯に取り組んでいきたい。

石黒委員 費用面が減少しているが、収益も減少している。患者がどこかに流れるというのではなく、全体的に減っているということか。

石井委員 職員も減少し、受け入れ態勢の問題もある。

石黒委員 大学病院でも患者集めに営業活動している話を聞く。また、経費の削減は限界がある。

木村委員 懇話会でも話題になったが、宮代町は縦に長く、両端に住む住民は町外の病院に流れる傾向があると聞いた。また、宮代町は特定健診の受診率が他市町と比較して高く、一人当たりの医療費も低く、住民の健康に対する意識が高い。そのため、受診が減っているのではないか。

石黒委員 裏表の部分がある。住民が健康で病院に行かなければ、病院側としては経営的に厳しくなる。

新井議長 続いて議事 4 のその他ですが、何かありますか。

野口室長 今年度 6 月 30 日と 10 月 28 日に運営懇話会を実施し、先程木村会長から話があった意見があつたことを報告します。

木村委員 病院がないと住民は安心して生活できない。大きい病院は紹介状がないと診察してもらえないし、そのためには初期診療が必要となる。そういう意味では、六花の役目は心強いと感じる。

新井議長 皆様の協力によりすべての議事を滞りなく終了することができました。以上で議長の職を降ります。協力ありがとうございました。

7. 閉会